

新潟市医師会

第149回 在宅医療講座

9月10日 2025年 午後7時00分から ※開場6時30分
日（水） （閉会：午後8時15分）

講演



新潟市急患診療センターの現状と 救急医療のひっ迫

新潟市急患診療センター センター長

山添 優 氏

会場：オンライン開催（Zoom）

主催：一般社団法人 新潟市医師会（担当：江部 理事）

定員：先着300名

ご参加いただく場合は、メールでお申し込みください。
裏面の「申込方法」をご覧ください。

入場
無料

救急医療は、突然の病気や交通事故による外傷など緊急性の高い傷病に対して、24時間365日体制で迅速かつ適切な医療を提供する、社会にとって不可欠なシステムです。新潟市急患診療センターは、地域の医療機関が休診となる夜間及び休日等において、応急処置を行う診療施設として新潟市が開設し新潟市医師会が運営しており、年間4万人以上の患者が受診しています。

しかし、医師・看護師・事務職員などの不足、超高齢社会による受診患者の高齢化と増加、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行などにより、年末年始などでは多くの患者であふれ、一次救急としての役割を十分果たせない場合がみられています。また、新潟市でも救急患者の搬送困難事例がみられています。

今回は、新潟市急患診療センターの現状と、顕在化しつつある新潟市の救急医療のひっ迫と課題について考えます。

この講座は在宅医療は未経験という先生方にもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位 カリキュラム内容：12. 地域医療